

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 16日	
殿	
提出者 住 所 大阪府堺市土塔町 1 9 9 1 番地 氏 名 泉南乳業株式会社 代表取締役社長 吉田 茂夫 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-236-0888	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	泉南乳業株式会社
事業場の所在地	大阪府堺市中区土塔町1991番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	10：飲料、たばこ、飼料製造業
②事業の規模	売上高 11,300百万円
③従業員数	100名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動植物性残渣 ↓ お茶カス、コーヒーカ ↓ 処理委託 有機性汚泥 ↓ 排水処理設 ↓ 脱水 ↓ 処理委託 廃プラスチック類 ↓ ポリ容器、ビニール ↓ 処理委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
産業廃棄物管理責任者 製造グループ 作業担当者 マニフェスト報告 業者依頼 製造グループ → マニフェスト報告 作業担当者 → マニフェスト報告 マニフェスト報告 → 業者依頼 業者依頼 → 製造グループ 業者依頼 → 作業担当者		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣 有機性汚泥
	排出量	1274 t 429 t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣 有機性汚泥
	排出量	1190 t 410 t
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、動植物性残渣、廃プラスチック等分別保管している。		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、動植物性残渣、廃プラスチック等分別保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状									
廃プラスチック	汚泥								
164 t	4 t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画									
廃プラスチック	汚泥								
160 t	2 t	t	t	t	t	t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

前 年 度 【令 和 5年 度】 実 績

出 発 者						
姓 名	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物等排出する事業等従事時に「管理する支配権を有する」事業等従事者の氏名	産業廃棄物等排出する事業等従事時に「管理する支配権を有する」事業等従事者の氏名	船舶汚染対策係の名称	船舶汚染対策係の担当者名	船舶汚染対策係の電話番号	船舶汚染対策係のFAX番号	船舶汚染対策係の電子メールアドレス
大阪府府中地区土壌汚染調査地		管理する事業等の名称	船舶汚染対策係の氏名			
		製造グループ				

[illegible]

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和6年度】目標

研 究 機 構					
項 目	名 称	研究機関	研究代表	電話番号	FAX
産業廃棄物を排出する事業場を統一的に管理する施設等の設置	産業廃棄物を排出する事業場を統一的に管理する施設等の設置	総合技術開発事業の推進	総合技術開発事業の推進	総合技術開発事業の推進	総合技術開発事業の推進
大規模廃棄物処理施設100万トン	大規模廃棄物処理施設100万トン	産業廃棄物処理	産業廃棄物処理	産業廃棄物処理	産業廃棄物処理

年度	産業廃棄物の種類	処 理 状 況										注 意 事 項			
		①排出量	②前年度実績 率を利用した量	③前年度実績率 率を利用した量	④前年度実績率 率を利用した量	⑤前年度実績率 率を利用した量	⑥前年度実績率 率を利用した量	⑦前年度実績率 率を利用した量	⑧前年度実績率 率を利用した量	⑨前年度実績率 率を利用した量	⑩前年度実績率 率を利用した量	⑪前年度実績率 率を利用した量	⑫前年度実績率 率を利用した量	⑬前年度実績率 率を利用した量	⑭前年度実績率 率を利用した量
1	210 有機性汚泥	410								410					0
2	220 動植物性残渣	90								90					0
3	230 動植物性残渣	1,100								1,100					0
4	400 廃プラスチック類	160										160			0
5															0
6															0
7															0
8															0
9															0
10															0
11															0
12															0
13															0
14															0
15															0
16															0
17															0
18															0
19															0
20															0
合計		1,760	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,600	0	160	0

（注）①～⑩は前年度実績として四捨五入、⑪～⑭は、報告が実施された後、以下の数値で記載する。